

授業科目	西洋の歴史と文化					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10107J	
開講年次	2・3・4 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP3-1			
担当教員	山本 達夫							
授業概要	西洋のうち、ヨーロッパの歴史を考える。 今、ヨーロッパには統一の方向と分裂の方向が同時に起きている。統一の方向とは、諸国民国家が EU への統合を深化させていることであり、分裂の方向とは、一つの国民国家の中で諸民族が分立の動きを見せていることである。このような現在の問題を理解するには歴史を知ることが不可欠である。 授業では、まず、今起きている統一の方向と分裂の方向について解説する。つぎに、ヨーロッパを構成する諸要素が中世に登場したことについて解説する。さらに、中世に登場した諸要素が、どのようにして近世・近代に展開し、現代まで繋がっていくのかについて解説する。							
学生が達成すべき行動目標	1. 中世に登場し、ヨーロッパ世界を構成していく諸要素について説明できる。 2. ヨーロッパ史における中世と近世・近代との繋がりについて説明できる。 3. 現在ヨーロッパに起きている諸問題を歴史的に考察することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	70	30					100	
知識・理解 (DP1-2)	70	30					100	
知識・理解 (DP1-3)	70	30					100	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	70	30					100	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ヨーロッパ史の基本的な知識をよく理解し、ヨーロッパの現在の諸問題を歴史的に考察できる。 テキストやプリントの内容について、人に正確に説明できる。				ヨーロッパ史の基本的な知識を理解している。 テキストやプリントの内容について、人に説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:ヨーロッパの現状① ヨーロッパの統一、EU の拡大と深化について解説す			講義		復習:当該部分の復習		45

	る。			
2	テーマ:ヨーロッパの現状② 国民国家内の諸民族の分立、スコットランドの「独立」とアルザス問題について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
3	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成① カトリック教会の布教活動、ヨーロッパ世界の空間的ひろがりについて解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
4	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成② ゲルマン人の社会、ゲルマン人の大移動について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
5	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成③ キリスト教共同体の形成—教皇権と皇帝権の分立、ビザンツ世界との比較について解説する。	講義 小テスト	予習:小テストに向けた準備 復習:当該部分の復習	120
6	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成④ 中世農業革命と荘園制の転換、農村のヨーロッパ的特質と農民の団体的性格について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
7	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成⑤ 農村と都市の有機的分業関係、都市のヨーロッパ的特質と市民の団体結成運動について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
8	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成⑥ キリスト教の時間・空間概念の特質、AD と BC の使用について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
9	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成⑦ キリスト教の政治理念、神の平和運動と騎士理念について解説する。	講義 小テスト	予習:小テストへ向けた準備 復習:当該部分の復習	105
10	テーマ:中世におけるヨーロッパ世界の形成⑧ 平和団体の結成、フランスにおける国王の平和とドイツにおける帝国改造について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
11	テーマ:近世・近代における諸要素の展開① フランスの絶対主義、フランス革命と国民国家の成立について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
12	テーマ:近世・近代における諸要素の展開② 農村邦と都市邦のスイス誓約同盟、スイスにおける連邦国家の成立について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	45
13	テーマ:近世・近代における諸要素の展開③ ウェストファリア条約後のドイツ、神聖ローマ帝国の解体、ドイツにおける連邦制の展開について解説する。	講義 小テスト	予習:小テストに向けた準備 復習:当該部分の復習	105
14	テーマ:近世・近代における諸要素の展開④ 政教分離の展開—宗教戦争とフランス革命について解説する。	講義	復習:当該部分の復習	60
15	テーマ:歴史と現代の係わり まとめ	講義・試験	復習:当該部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校世界史の知識が役立ちますが、新しい内容もあるので、積極的に取り組む姿勢が必要です。			
テキスト	長島武之・柳澤伸一他編『新考察・西洋の歴史』(南窓社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	プリントを毎回配布する。 参考図書は適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	歴史は、決して暗記物ではありません。過去を現在からどう解釈するかが問題です。ヨーロッパの歴史は、現代的関心からするとどのように解釈し直せるでしょうか。テキストの叙述が理解しやすいように、関連のプリントを使いながら、丁寧に説明していくつもりです。テキストとプリントをよく読めば、ヨーロッパの歴史について新しいイメージを持てるようになると思います。			
達成度評価に関するコメント	試験及び小テストの内容に関しては、授業の中で指示をする。			